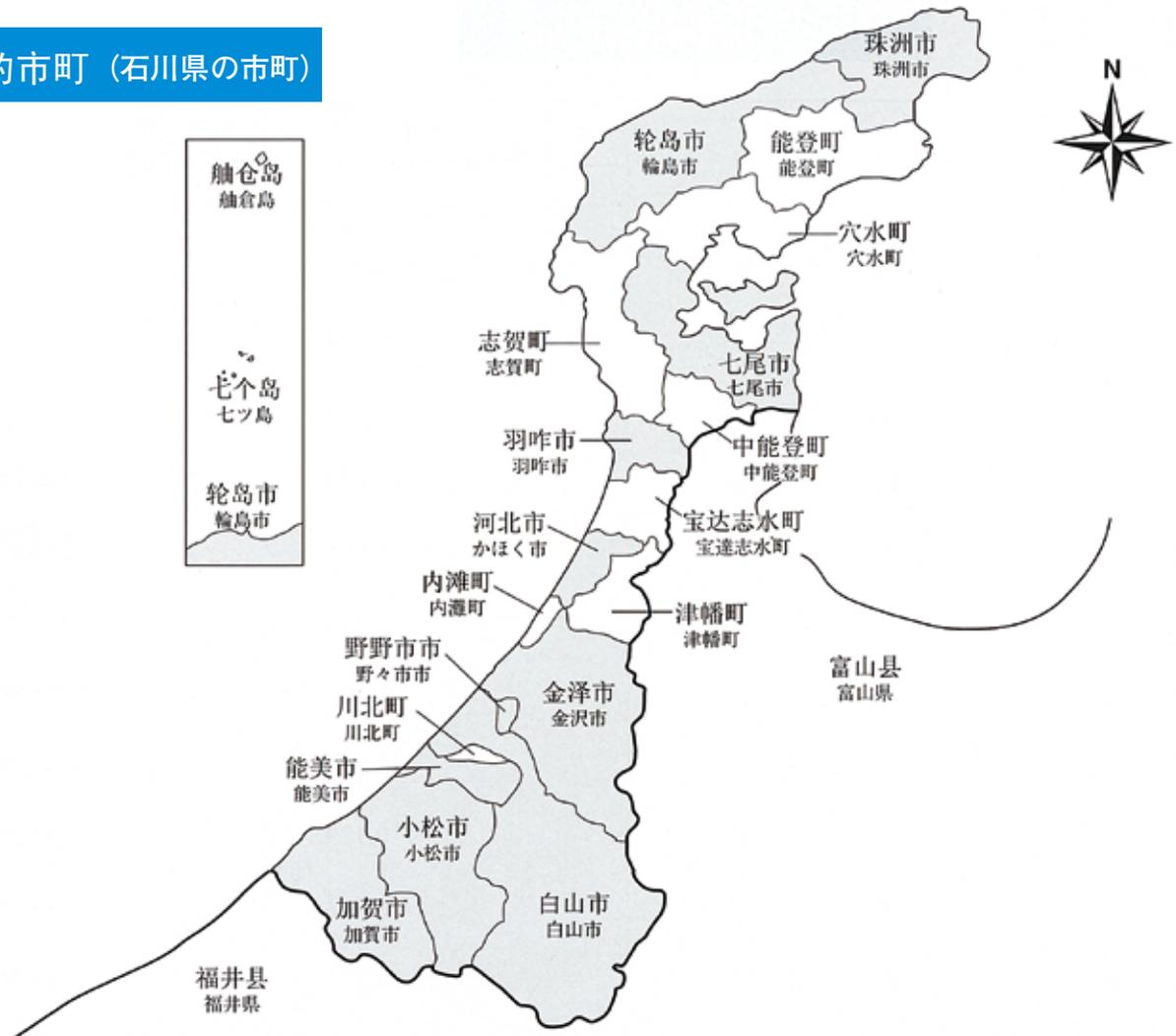


石川县的市町 (石川県の市町)



县 鸟
(黑 鷲)
県 鳥
(イヌワシ)



1965年1月1日制定

生活在白山连绵的山峰里的日本最大的鷲，展开双翅可达两米。鷲全身呈偏黑的茶色，在陡峭的山涧间自由翱翔的雄姿很有气势，它英勇的姿态和勇猛果敢的天性带给人以宏大进取的精神。据推测有30~40只鷲栖息在石川县内，而在日本全国总数也仅有300只左右，故异常珍贵。

昭和40年1月1日指定

白山連峰に生息する日本最大級のワシで、翼を広げると2mにもなります。全体に黒っぽい茶色をしており、切り立った谷間の空をゆうゆうと飛んでいる姿は、貫禄があり、その雄々しい姿と勇猛果敢な性質からは、広大・進取の気風が感じられます。県内には30~40羽が住んでいると推定されますが、全国的に見ても300羽くらいしかいないことから、非常に貴重です。

县 树
(当 桧)
県 木
(ア テ)



1966年10月1日制定

以打造绿色环境和提高爱护树木的意识为目的从县民中募集意见而指定的。多见于能登地区，是石川县独有的造林树种，也多用于建筑材料和輪島漆器木胎。「Ate」这一名字是北陆地区对罗汉柏的叫法。

昭和41年10月1日指定

緑の環境づくりと愛樹思想の啓発を目的に県民から公募し、指定されました。能登地方に多く生息し、本県独特の造林樹種で家具、建築材や輪島漆器の木地にも多く使われています。「アテ」の名はヒノキアスナロの北陸での地方名です。

乡土之花
(黑 百合)
郷土の花
(クロユリ)



1954年3月19日制定

由NHK（日本放送协会）评选出的“乡土之花”多生长在灵峰白山的弥陀之原和室堂平附近。黑百合长在海拔2,300米~2,500米处，极耐风雪，开花时形态可掬，广受县民喜爱。

昭和29年3月19日決定

NHKにより、「郷土の花」として選ばれたものです。霊峰白山の弥陀が原、室堂平付近に多く自生しています。標高2,300m~2,500mで風雪に耐え、かれんに咲くクロユリは、広く県民から親しまれています。